

～2018年業績は年末の仕掛けでほぼ決まる!!～ 色々考えると 年末の大型ミドルはイケ!!



グローバルアミューズメント株式会社
代表取締役 青山 真将樹

Hondaのマーケティングプロジェクトリーダーとして新商品の開発企画に従事。
企画商品は「日本カーオブザイヤー」、「日経新聞大賞」など各賞を獲得。
2007年、とあるコンサル会社に入社。在籍6年9か月で4度の
「年間最多コンサルティング受注」を獲得、現役最強トップコンサルタントとして突出した
存在となる。2013年12月、パチンコ・パチスロの機械評価・市場分析に特化した、
コンサル&シンクタンク会社グローバルアミューズメント株式会社を設立。
現在、ホール&メーカーの双方から支持される業界唯一のコンサルタントであり経営者。

皆様、こんにちは。グローバルアミューズメント株式会社 代表取締役 青山真将樹です。
さて、さて、いよいよ年末のパチンコ大型機種の話が出てきましたね。「CR大海物語4」
「CR真・花の慶次2」の2機種が超注目だと考えます。各機種の詳細はまだわかりませんが、
年末のパチンコ大型機種はしっかり導入すべきだと考えてます。今日はその話をお伝えします。

■2018年は“超前半逃げ切り型”の年!! 年末・年始の“負け”はひっくり返すチャンスが無いよ!!

規則改正の内容もかなり明確になり、「2018年はどのような年になるか?」というイメージが
掴めてきたと思います。現時点で私は、2018年は以下のような年になると考えています。

- ①ジャグラーの前倒し認定もできそうな話となり、パチスロ部門は
入替が超抑えられる年。新台集客はパチンコ中心となる。
- ②規則改正後のパチンコ新台で安定稼働機が生まれるまでに
時間がかかりそう。現行規則機にどれくらい客付けできるかで
2018年の自店安定客数はほぼ決まる。

③年々、ホール業界の稼働・客数における“前半逃げ切り市場”化が
顕著。年末～春に攻め、夏～秋は守りに徹するのがセオリー。
2018年は年中盤頃から発売される新台は完全に新規則機に
なるため、過去とは比較にならないほど“前半逃げ切り市場”となる。

と考えています。つまり、「年末年始に少しでも優位に立ち、2018年前半で
好成績を収めないと年途中での逆転はほぼ無理」というのが2018年の姿と
考えています。そして、現行規則機に客付けができず“シリ貧”になっていくと、

- i) ダメな機械とわかっていても入替を続けないと客数低下に歯止めが効かない。
- ii) 粗利率はドンドン上昇し、固定客の流出に歯止めが効かない。

という状況に陥る可能性が高まり、経営的なリスクが一気に増大すると予想しています。

■年末年始、“沖海4”vs“大海4”(1800発)に注目!! “牙狼”vs“慶次”(噂:特2 ALL 2000発超)に大注目!!

3個戻し×ST継続率80%の「CR北斗無双」は、“使いこなせる店”にとっては2018年以降、
手堅い固定島機種になると考えています。沖海4 vs 大海4の対決で“どちらが残るか?”
という点は、地域性・店客層に応じて、結果は様々だと想定していますが、大海4導入時に
ミドル海島をしっかりと盛り上げる仕掛けは“常連客固め”の必須要件。ココはケチらず、しっかりと
投資を行わないとダメだと思います。そして、最大の注目は“牙狼”vs“真・慶次2”の高射倅ミドル
機対決です。初のミドル化の結果、MAX時代よりやや“神通力”が落ちた印象がある牙狼と、
「CR 真・慶次」(初代)、「CR 花の慶次X」(ミドル)の2機種連続で高稼働機種であった慶次
との対決は「高射倅プレイヤーがどちらの機械との安定遊技客になるか?」という点で超注目
だと考えています。牙狼がミドル化にあたり、T1Yでかなりスペックダウン感が出ている状況下、
噂どおり“特2 ALL 2000発超”で慶次が牙狼に挑むなら、パチンコ部門の“大定番機”の
構図が大きく変わる可能性があると考えています。

という訳で、色々考えると、「年末の大型ミドル機はイケ!!」と言いたい。

どうせ、来年になったら機械代使わないでしょ? ケチり過ぎるのもダメだかね。
ぜひ参考にしてください。本日も最後までお読み頂き誠にありがとうございました。